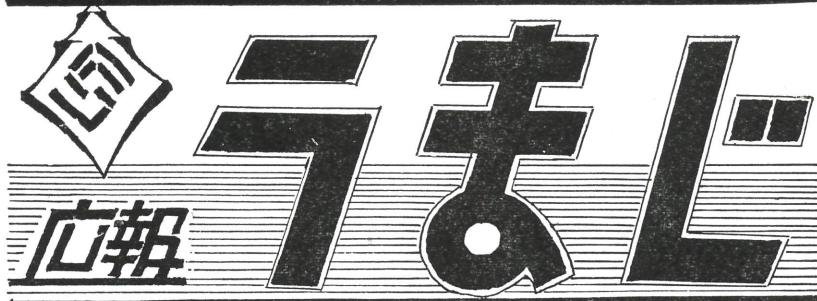


昭和45年(1970) 1月25日

編集と発行 高知県安芸郡馬路村
馬路村公民館

印 刷 川北印刷所



出初式

分列行進を行なう馬路村消防団
下は、魚梁瀬分団へ新しく配置された消防ポンプ車

1月8日、魚梁瀬小中学校で恒例の出初式が行なわれました。

山崎村長の訓示の後、服装、機械器具点検が行なわ一斉放水を行ないました。出初式にあたり四名の表彰がありました。

特別精勤賞 馬路分団長、甫木昭郎、部長、浜

渦安吉、魚梁瀬分団員、山崎雅朗

功労賞 馬路分団員、平山崇

史 上初の「師走選挙」といわれた衆議院議員総選挙は、文字どおりあわただしい年の瀬(二十日)に執行されました。が、本村では投票率においては別表1のとおり、八十七・〇七%とほとんど昭和四十二年一月に行なわれた前回みなのが成績を示しました。これは激しい選挙戦であつたといふこともありましたが、不在者投票制度が選挙民に浸透し、たとえば正月帰省する営林署職員など帰省前にはほとんど投票をしませ、不在者投票の総数がいつも選挙の倍近く百六もあつたことも見のがせないことでしょう。

さて、開票の結果ですが、有権者が前回に比べ、百五十人の減、民社党からの立候補等注目されておりましたが、政党的には別表2のとおりの結果が出ました。

以下候補者別の得票数です。(太字が当選者、()は前回投票総数)

森本 靖(社会)	(一、五九五)
井上 泉(社会)	(五七八)
自民	505 (34.9)
社会	674 (46.5)
公明	154 (10.7)
民社	32 (2.2)
共産	82 (5.7)
計	1,447
	1,598

表2. 過去3回の総選挙における政党別得票数 ()書き得票率

政党	44. 12. 29	42. 1. 29	38. 11. 21
自民	505 (34.9)	583 (36.7)	652 (39.6)
社会	674 (46.5)	797 (50.2)	885 (53.8)
公明	154 (10.7)	148 (9.3)	—
民社	32 (2.2)	—	33 (2.0)
共産	82 (5.7)	60 (3.8)	76 (4.6)
計	1,447	1,598	1,646

表1. 男女別投票率 ()書き前回

区分	男	女	計
当日の有権者	798 (887)	872 (933)	1,670 (1,820)
投票者	690 (789)	764 (806)	1,454 (1,595)
投票率	86.47 (88.95)	87.61 (86.39)	87.07 (87.64)

(1月1日、住民基本台帳による)

大字	男	女	計	世帯数
馬路	694	713	1,407	425
魚梁瀬	473	482	955	348
計	1,167	1,195	2,362	773

馬路村の位置 (役場所在地)	
東経	134°3'2"'
北緯	33°33'8"
海拔	280m
(魚梁瀬地448m)	
馬路村の広さ	165.07km ²
東西	11.7km
南北	19.5km

十二月定期議会から

職員給与平均十一・五%ベースアップ

文化財保護条例の制定など

(第四号)馬路村文化財保護条例など八議案が審議され、いずれも原案どおり決定同日閉会しました。職員給与の改正は人事院勧告による国家公務員の給与改正に準じ、昭和四十四年六月にさかのぼって適用されます。また、文化財保護条例は村内に所在する有形無形の文化財を永く保存し、その活用をはかり、村民の文化的向上に資することを目的とするもので、六人の文化財調査委員会が置かれますが、実質的な活動は新年度からになります。そのほか、本紙前号で詳報した中芸地区消防組合の規約を制定、知事の認可をまつて本年四月から正式に発足することになりました。

一般会計予算は五十七万二千円の減

川口橋架設は二力年事業に

一般会計補正予算の主なものは、職員給与改正で行政職員は平均十一・五%、改正好平均給料三万五千円、技能労務職員で平均十三・六%、(二万四千円)のベースアップと、扶養手当を千七百円に現在百

千円)期末手当(十二月支給分を本俸の百分の二百に現在百分の百九十)の改正です。そのほかでは、馬路地区椎尾山の入会林四十二ヶ所(七十筆、関係者三十七名)の測量、標柱埋設等整備事業で、十三万八千

円の受益者分担金、十六万八千円で行なうもので本年度末には完了の予定です。

また、森林組合労務者輸送用マイクロバス購入費として八十万円(内四十万円は県費)の森林組合への補助金、交通安全施設費として村道日浦二号線、影線林道中ノ川線、朝日出線にガード

円の受益者分担金、十六万八千円で行なうもので本年度末には完了の予定です。

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

新年の挨拶

村長 山崎公好

村民の皆様あけましておめでとうございます。明るい希望と抱負に満ちたことを皆様と共によろこび申し上げます。

年末には、総選挙があり何かと忙しい年末でした。

黄金の六十年代と言われた四十年も、もう過去の年となり、今日七十年の新春を迎える年です。

七十年代は日本が戦後において、もつとも大切な年であると思います。

例えば、大阪万国博覧会、東洋では始めてだそうですが、日本の経済が全世界にこれから伸びる年であると思いま

す。

都会で就職しまた、勉強している方々も郷里へ帰つてお

られると思いませんが、久し振

りの郷土で数日でも澄んだ清

い空気を吸い、お父さん、お母

さんとの生活を楽しんでま

た、懸命に努力をして下さ

い。

どうか村民の皆様、将来の馬路村、高知県の未来を充分に考えられて住みよい郷土を作らんと協力し合つて行きましょう。

以上で私の四十五年新春のあいさつと致します。

それは皆さんのが手塩に掛けて育てた山が宝の持腐れになります。

した場合、もう一つ深く古人の諺を考え直さなければなりません。

時代であるようです。

それには皆さんが手塩に掛けて育てた山が宝の持腐れになります。

育てた山が宝の持腐れになります。

した場合、もう一つ深く古人の諺を考え直さなければなりません。

時代であるようです。

それは皆さんが手塩に掛けて育てた山が宝の持腐れになります。

育てた山が宝の持腐れになります。

